

令和2年度 校内研究

校内研究・研修

(1) 研究主題

子どもたちがわかる（できる）喜びを実感できる授業づくり
～対話的活動による深い学びを通して～

(2) 主題設定の理由

昨年度の全国学力・学習状況調査において、国語・数学・英語についての分析は以下の通りである。国語については、記述式問題に課題があり、資料を読み取って自分の意見を記述することが苦手であった。また、必要な情報を精査し、相手に簡潔に伝える問題の正答率も低かった。数学については、計算や基本的な問題はできているが、表やグラフなどから特徴を見出し、論理的に説明するという点に弱さが見られた。英語については、資料を読んで自分の意見を表現したり、説明したりすることができていなかった。

－昨年は道徳の指定を受け、「考え論議する授業づくり」・「認め励ます評価のあり方」についての研究をすすめてきた。生徒が考え議論する授業づくりのために、中心発問の設定や、いかに自分事として考えさせるかなどの工夫をしてきた。また昨年度は、深い学びにつながる授業を目指して、学習課題の設定、学習形態、言語活動などについて改善してきた。

本校生徒は全般的に、「言語を用いて、情報を整理する・考える・相手にわかるように伝える」力をより向上させる必要がある。これまでの研究の上に立ち、さらに、新学習指導要領の求める「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視した授業を改善を目指していきたい。

そのために、話し合わせたり、レポート作成などの積み重ねを通してこのような力を身につけさせたい。また、授業内容の理解を助けるためや、意見交流のツールとして ICT を有効に活用できるようにしていきたい。

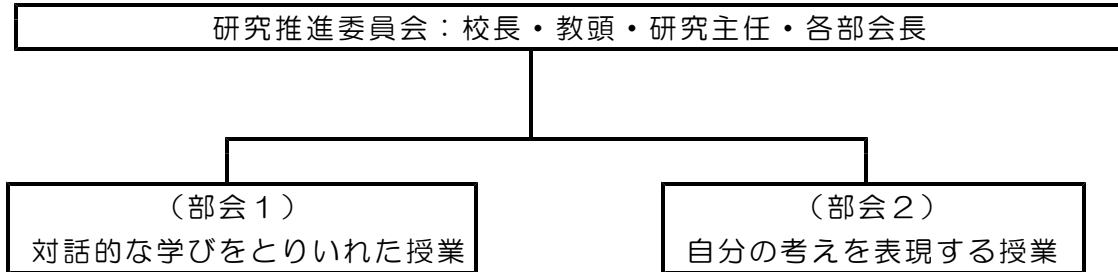
以上のことから、本年度の研究主題を設定した。

(3) 研究内容・方法 研究主題にせまる授業改善を行うため以下のねらいを取り入れた授業実践を行う。

- ねらい
- ① 対話的な学びをとり入れた授業・・・他の発言から学び、深まる授業「ペア学習」「グループ学習」「ICT機器の活用」など
 - ② 自分の考えを発表する授業・・・記憶だけでなく、学んだことをもとに自分の考えを積極的に表現できる授業「言語活動の工夫」「表現力をつけさせる工夫」など

※教員は2部会に分かれ、研究授業を3回実施し、研究協議を行うとともに生徒からのアンケートや授業のふり返りをもとに、ねらいが達成できたかどうかを検証する。

(4) 研究組織



(5) 研究計画

月	校内研究	職員研修
4	研究全体計画 研究の年間計画の作成・組織作り	研修計画の作成 教職服務研修
5	校内研究推進委員会 校内研究会	環境教育に関する研修
6	校内研究推進委員会 校内研究会 校区研	学級づくりに関する研修 学力向上に関する研修 生徒指導に関する研修 人権教育に関する研修
7	校内研究推進委員会	薬物濫用防止に関する研修 不祥事防止に関する研修
8	校内研究推進委員会 校内研究会	人権教育に関する研修 ICTを活用した教育に関する研修 特別支援教育研修
9	校内研究推進委員会 校内研究会	情報教育に関する研修 在日外国人生徒への指導に関する研修
10	校内研究推進委員会 校内研究会 研究授業① ※学校訪問	危機管理に関する研修 食育に関する研修
11	校内研究推進委員会 校内研究会 研究授業②	児童虐待対応に関する研修 進路指導に関する研修
12	校内研究推進委員会	不祥事防止に関する研修 安全教育に関する研修

1	校内研究推進委員会 校内研究会	体罰防止に関する研修 生徒指導に関する研修
2	校内研究推進委員会 校内研究会 研究授業③	メンタルヘルスに関する研修 教育相談に関する研修
3	校内研究会 →校内研究の成果と課題のまとめ 校内研究推進委員会 →次年度の研究計画	教職服務に関する研修 不祥事防止に関する研修

(6) 過去5カ年間の研究主題および指定研究歴（市町教育委員会の指定を含む）

- ① 平成27年度 県・学級活動スキルアップ事業
確かな学力向上のための指導改善と集団づくり
- ② 平成28年度 県・学級活動スキルアップ事業
主体的に学ぶ力を高める授業改善と集団づくり
～学ぶ力を高める授業改善と認め合う学級づくりをめざして～
- ③ 平成29年度 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業
道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う教育の推進
～「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の推進～
- ④ 平成30年度 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業
考えを深める授業の創造とよりよい生き方につなげるための評価の在り方
～道徳性の育成につながる授業評価をめざして～
- ⑤ 令和元年度 子どもたちがわかる（できる）喜びを実感できる授業づくり
～深い学びにつながる授業改善を目指して～